



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月27日

上場会社名 ピー・シー・エー株式会社
 コード番号 9629 URL <http://www.pca.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 文昭
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 坂下 幸之
 定時株主総会開催予定日 2020年6月19日 配当支払開始予定日 2020年6月22日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5211-2711

2020年6月22日

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	14,266	24.7	2,781	122.8	2,808	119.9	1,816	100.4
2019年3月期	11,439	16.9	1,248	54.7	1,277	53.0	906	105.5

(注) 包括利益 2020年3月期 1,835百万円 (49.1%) 2019年3月期 1,230百万円 (69.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	272.92	—	14.3	13.0	19.5
2019年3月期	133.25	—	7.8	6.8	10.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	22,967	13,620	58.7	2,027.42
2019年3月期	20,089	11,995	59.3	1,789.76

(参考) 自己資本 2020年3月期 13,492百万円 2019年3月期 11,904百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,328	△719	△225	10,063
2019年3月期	2,141	△80	△572	7,678

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	31.00	31.00	206	23.3	1.8
2020年3月期	—	0.00	—	54.00	54.00	359	19.8	2.8
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	34.00	34.00		—	

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通 期	13,280	△6.9	2,034	△26.9	2,055	△26.8	1,358	△25.2	円 銭 204.07

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 新規 社（社名）、 除外（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	7,700,000株	2019年3月期	7,700,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期	1,045,203株	2019年3月期	1,048,772株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	6,653,899株	2019年3月期	6,801,235株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	13,379	24.7	2,280	131.0	2,406	131.4	1,503	94.1
2019年3月期	10,727	19.7	987	38.1	1,039	29.9	774	662.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	225.90	—
2019年3月期	113.88	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	19,978	12,357	61.9	1,856.86
2019年3月期	17,686	11,081	62.7	1,666.16

(参考) 自己資本 2020年3月期 12,357百万円 2019年3月期 11,081百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	11,919	△10.9	1,863	△22.5	1,300	△13.5	195.48

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいております。予想に内在するさまざまな不確定要因やこの後の事業運営における内外の状況等の変化により、実際の業績は見通しと異なる場合があります。業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「経営成績等の概況(1) 当期の経営成績の概要」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済状況は、自然災害や消費税増税の影響による景況感が下振れする一方、雇用環境の改善や設備投資の増加基調が続き堅調に推移してまいりました。また、海外経済における米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題など世界経済の動向による日本経済への影響が引き続き懸念されております。このような状況の中、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により世界経済の見通しは極めて不透明となり、今後の事業活動への影響が大いに懸念される状況となっております。

現在、新型コロナウイルス(Covid-19：通称：新型コロナウイルスなど)の社内外への感染被害抑止の観点から、お客様、パートナー様、社員、関係先等の皆様の安全・安心を第一に考え、政府指導に基づき対応していくとともに、事業等の基本方針として以下の通り実施しております。

- ・社員に対し在宅勤務・テレワークの推奨
- ・公共交通機関を利用する際の時差出勤の推奨
- ・弊社主催セミナーの開催実施見合わせやウェビナー方式開催の検討

当社グループでは、今後も新型コロナウイルス感染拡大阻止のための取り組みを継続してまいります。

情報サービス産業においても、2020年1月にサポート終了を迎えたWindows7の買替需要の影響を受け、引き続き国内法人向けのPC出荷数は高水準で推移しており、第4四半期においてもICT(情報通信技術)への投資は堅調に続いてまいりました。

このような状況の中、当社グループでは、2019年10月より『共創するサブスクリプションビジネス ～カスタマーサクセスへ導く新たなパートナーシップ～』をテーマに「PCA 戦略フォーラム2020」を全国主要都市にて開催するとともに、「クラウド」「RPA」を活用したデジタルファーストの製品をアピールして参りました。ユーザーの業務改善につながる様々なニーズに対応すべく、今後もクラウド&ソリューションサービスの提供により、主に総務・人事・経理業務に従事するユーザーの業務改善につながる製品サービスを提供し、販売パートナーとともに引き続きサービス提供を展開してまいります。

消費税改正及びPCの買換需要の影響で製品売上が大幅に増加し、PCAクラウドシリーズについても、サービス12年目となり利用社数14,000社を突破しさらに順調に推移しています。

また、引き続き「働き方改革」への取り組みは注目されており、当社グループでは「働き方改革」への対応を実現するための一つ的手段として勤怠管理のクラウドサービスを提供しており、当連結会計年度において好調に推移しており、引き続き連結業績に貢献すると期待しております。

連結対象会社の株式会社ケーイーシーは、当社製品・サービスの導入指導、運用保守、ネットワーク環境構築の事業を主体としており、同じくクロノス株式会社は、就業管理システムおよびタイムレコーダーの開発、販売を行っており、連結業績に大きく寄与しております。Keepdata株式会社はビックデータ等に関連するソフトウェアの開発販売、サービスの提供等の事業を行っております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高14,266百万円(前年同期比24.7%増)、営業利益2,781百万円(前年同期比122.8%増)、経常利益2,808百万円(前年同期比119.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,816百万円(前年同期比100.4%増)となりました。

当社グループは単一セグメントにつき、セグメントごとの記載に代えて、種類別売上高を記載しております。

種類別売上高

区分	売上高(百万円)	構成比(%)	前期比増減(%)
製品 (従来型ソフトウェア)	3,166	22.2	25.8
商品(帳票等)	552	3.9	△1.9
保守サービス	3,471	24.3	11.1
クラウドサービス	3,374	23.7	37.6
その他営業収入	3,701	25.9	33.1
合計	14,266	100.0	24.7

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産の残高は、22,967百万円(前連結会計年度末は20,089百万円)となり、2,878百万円の増加となりました。

流動資産においては、2,068百万円(前連結会計年度末12,038百万円から当連結会計年度末14,106百万円へ)の増加となりました。これは主に現金及び預金が3,436百万円増加したことによるものであります。

固定資産においては、810百万円(同8,050百万円から同8,861百万円へ)の増加となりました。これは主に投資有価証券が545百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債の残高は、9,346百万円(前連結会計年度末は8,093百万円)となり、1,253百万円の増加となりました。

流動負債においては、699百万円(前連結会計年度末5,406百万円から当連結会計年度末6,106百万円へ)の増加となりました。これは主に、前受収益が389百万円増加したことによるものであります。

固定負債においては、553百万円(同2,687百万円から同3,240百万円へ)の増加となりました。これは主に長期前受収益が427百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、13,620百万円(前連結会計年度末は11,995百万円)となり、1,625百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が1,609百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2,384百万円増加(前連結会計年度は1,489百万円の増加)し、10,063百万円となりました。

なお、当連結会計年度における各活動によるキャッシュ・フローの状況とそれらの主な増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3,328百万円(前連結会計年度は2,141百万円の収入)となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益2,793百万円、前受収益の増加額389百万円、法人税等の支払額1,043百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、719百万円(前連結会計年度は80百万円の支出)となりました。

これは主に、投資有価証券の取得による支出650百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、225百万円(前連結会計年度は572百万円の支出)となりました。

これは主に、株主に対する配当金の支払額206百万円によるものであります。

また、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは、下記のとおりであります。

(参考) キャッシュ・フロー指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率	65.1%	65.0%	59.3%	58.7%
時価ベースの自己資本比率	63.7%	68.3%	97.2%	88.8%

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。
3. 債務償還年数及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、算定の基礎となる項目の発生がないため、記載を省略しております。

(4) 今後の見通し

次期の連結業績につきましては、以下のとおり見込んでおります。

売上高	13,280百万円	(当期売上高)	14,266百万円)
営業利益	2,034百万円	(当期営業利益)	2,781百万円)
経常利益	2,055百万円	(当期経常利益)	2,808百万円)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,358百万円	(当期親会社株主に帰属する当期純利益)	1,816百万円)

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、第1四半期において新型コロナウイルス感染症による業績への影響を考慮して算定しておりますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、最終利益目標を達成するため、内外の状況の変化に合わせて経費の執行等を促進、或いは抑制する可能性があります。そのために第2四半期累計期間の連結業績を予想することが困難であることなどから、現段階では第2四半期累計期間の連結業績予想は開示しない方針であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、会計基準につきましては日本基準を採用しておりますが、国内他社のIFRS(国際財務報告基準)の採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,280	10,716
受取手形及び売掛金	2,294	1,984
有価証券	1,499	270
商品及び製品	91	99
原材料及び貯蔵品	11	33
その他	864	1,002
貸倒引当金	△3	—
流動資産合計	12,038	14,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,313	2,416
減価償却累計額	△1,388	△1,439
建物及び構築物（純額）	924	977
車両運搬具	7	7
減価償却累計額	△6	△7
車両運搬具（純額）	0	0
土地	2,371	2,371
その他	542	596
減価償却累計額	△415	△431
その他（純額）	126	164
有形固定資産合計	3,423	3,513
無形固定資産		
ソフトウェア	162	61
電話加入権	10	10
その他	32	0
無形固定資産合計	204	72
投資その他の資産		
投資有価証券	2,394	2,939
繰延税金資産	1,755	1,964
その他	275	374
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,421	5,275
固定資産合計	8,050	8,861
資産合計	20,089	22,967

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	201	189
未払法人税等	673	749
前受収益	2,711	3,101
賞与引当金	239	263
役員賞与引当金	32	24
その他	1,547	1,779
流動負債合計	5,406	6,106
固定負債		
長期前受収益	1,176	1,603
株式報酬引当金	39	53
役員退職慰労引当金	29	35
退職給付に係る負債	1,215	1,320
資産除去債務	59	61
その他	165	166
固定負債合計	2,687	3,240
負債合計	8,093	9,346
純資産の部		
株主資本		
資本金	890	890
資本剰余金	1,919	1,928
利益剰余金	9,655	11,265
自己株式	△1,399	△1,394
株主資本合計	11,065	12,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	838	801
その他の包括利益累計額合計	838	801
非支配株主持分	91	128
純資産合計	11,995	13,620
負債純資産合計	20,089	22,967

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	11,439	14,266
売上原価	4,916	5,666
売上総利益	6,522	8,599
販売費及び一般管理費	5,274	5,817
営業利益	1,248	2,781
営業外収益		
受取利息	3	8
受取配当金	12	15
受取賃貸料	8	6
その他	10	4
営業外収益合計	34	34
営業外費用		
その他	5	7
営業外費用合計	5	7
経常利益	1,277	2,808
特別利益		
投資有価証券売却益	72	—
特別利益合計	72	—
特別損失		
ゴルフ会員権売却損	—	14
関係会社株式売却損	81	—
投資有価証券評価損	1	—
特別損失合計	82	14
税金等調整前当期純利益	1,266	2,793
法人税、住民税及び事業税	783	1,113
法人税等調整額	△443	△192
法人税等合計	339	921
当期純利益	927	1,872
非支配株主に帰属する当期純利益	20	56
親会社株主に帰属する当期純利益	906	1,816

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	927	1,872
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	303	△36
その他の包括利益合計	303	△36
包括利益	1,230	1,835
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,209	1,779
非支配株主に係る包括利益	20	56

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	890	1,919	8,961	△1,039	10,731
当期変動額					
剰余金の配当			△212		△212
親会社株主に帰属する当期純利益			906		906
自己株式の取得				△359	△359
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	693	△359	334
当期末残高	890	1,919	9,655	△1,399	11,065

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	534	534	98	11,365
当期変動額				
剰余金の配当				△212
親会社株主に帰属する当期純利益				906
自己株式の取得				△359
自己株式の処分				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	303	303	△7	296
当期変動額合計	303	303	△7	630
当期末残高	838	838	91	11,995

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	890	1,919	9,655	△1,399	11,065
当期変動額					
剰余金の配当			△206		△206
親会社株主に帰属する当期純利益			1,816		1,816
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		9		4	14
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	9	1,609	4	1,624
当期末残高	890	1,928	11,265	△1,394	12,690

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	838	838	91	11,995
当期変動額				
剰余金の配当				△206
親会社株主に帰属する当期純利益				1,816
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				14
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△36	△36	37	1
当期変動額合計	△36	△36	37	1,625
当期末残高	801	801	128	13,620

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,266	2,793
減価償却費	91	110
無形固定資産償却費	377	116
のれん償却額	—	31
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13	24
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	32	△8
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△136	5
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	39	14
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	164	104
受取利息及び受取配当金	△15	△23
投資有価証券売却損益 (△は益)	△72	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	81	—
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	—	14
売上債権の増減額 (△は増加)	△815	280
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△0	△29
仕入債務の増減額 (△は減少)	49	△12
前受収益の増減額 (△は減少)	516	389
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	369	196
その他	389	338
小計	2,353	4,345
利息及び配当金の受取額	14	27
法人税等の支払額	△225	△1,043
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,141	3,328
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△102	△52
定期預金の払戻による収入	1,550	—
有形固定資産の取得による支出	△67	△167
無形固定資産の取得による支出	△24	△16
有価証券の取得による支出	△500	△220
有価証券の償還による収入	—	500
投資有価証券の取得による支出	△1,013	△650
投資有価証券の売却による収入	114	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△28	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	6	—
その他の投資による支出	△25	△136
その他の投資による収入	10	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80	△719
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△359	△0
配当金の支払額	△212	△206
非支配株主への配当金の支払額	△0	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△572	△225
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,489	2,384
現金及び現金同等物の期首残高	6,189	7,678
現金及び現金同等物の期末残高	7,678	10,063

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

当社グループは、ソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは、ソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額 1,789円76銭	1株当たり純資産額 2,027円42銭
1株当たり当期純利益 133円25銭	1株当たり当期純利益 272円92銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載していません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載していません。

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	906	1,816
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	906	1,816
期中平均株式数(千株)	6,801	6,653
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。